



エコ・ファーストの約束(更新書)

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

令和4年10月20日

環境大臣 西村 明宏 殿

株式会社 資生堂

代表取締役 社長 CEO

魚谷 雅彦

資生堂は、企業使命である

「BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD (美の力でよりよい世界を)」のもと、「美の力を通じて“人々が幸福を実感できる”サステナブルな社会の実現」を目指しています。

またそのために、「環境」に関しては、下記3つの取り組みを行ってまいります。

1. 地球温暖化防止に向けた取り組みを積極的に推進します。

全事業所での取り組みを通じて、事業活動全体のCO2排出量削減に取り組みます。

- ① SBT (Science Based Target : 科学と整合した目標) 認定の取得、RE100 (Renewable Energy 100%)への参加に加え、長期的な気候関連リスク・機会がもたらす財務影響およびそれに伴う戦略などをTCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures : 気候関連財務情報開示タスクフォース)のフレームワークに沿って情報開示し、サステナブルな社会の実現に向けて、省エネ活動の実施や再生可能エネルギーの利用により2026年までにカーボンニュートラル*1を達成します。
- ② サプライチェーン全体を含めた製品のライフサイクルでのCO2排出量を把握するとともに、情報開示を行います。

*1 当社全事業所、Scope 1・Scope 2、カーボン・オフセットを含む

2. 容器包装に関して、「資生堂5Rs (Respect, Reduce, Reuse, Recycle, Replace)」のポリシーに沿って、環境対応を積極的に推進します。

- ① サーキュラーエコノミーに賛同し、2025年までに100%サステナブルな容器*2を実現する、という目標を開示しています。目標達成に向け、容器の軽量化や「つめかえ・つけかえ」容器によるプラスチック量及び環境負荷の軽減、リサイクル可能な単一素材(モノマテリアル)容器の展開、生分解性樹脂の利用などに取り組んでいます。
- ② 社員を対象としたマイボトル推進キャンペーン施策の実施、ペーパータオル廃止とマイハンカチ持参の啓発活動の実施などにより、紙資源使用量を削減することに加え、社員の環境意識向上に向けた啓発活動を推進します。

*2 プラスチック製容器について

3. 価値づくりの源泉である有限な自然資源を活用するために、環境保全や生物多様性の観点、さらにサーキュラーエコノミーに対応した資源の使用量削減や再利用などを踏まえた、サプライチェーンにおけるサステナブルな原材料調達に責任をもって取り組みます。

- ① 原材料の調達から製品の開発、生産から使用、廃棄までバリューチェーン全体を通じて地球環境の保全に努め、持続可能な資源の活用を目指します。
- ② 2010年よりRSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil : 持続可能なパーム油のための円卓会議)に加盟し、持続可能なパーム油の利用に向け、全工場にてサプライチェーン認証を取得し、2026年末までに自社で購入する全てのパーム由来原料について、RSPOの物理的なサプライチェーンモデルで認証された原料に切り替えます。
- ③ 「資生堂グループ サプライヤー行動基準」、「資生堂グループ 調達方針」、「資生堂グループ 持続可能な原材料調達ガイドライン」を遵守し、また定期的にサプライヤー評価や監査によるモニタリングを行い、サステナブルで責任ある原材料調達を推進します。

株式会社 資生堂は、上記の取り組みの進捗状況を確認し、環境省への報告ならびに、ウェブサイトなどによる公表を行ってまいります。

SHISEIDO